

よくあるご質問

2021年5月11日時点

I. CDP からの要請

1. 誰が CDP を通じて自社の環境情報を求めているのですか。
2. どのような情報の開示を求められているのですか。
3. なぜCDPを通じた情報開示を行うべきなのですか。
4. CDP への回答要請は受け取っていませんが、CDP を通じて回答することは可能ですか。
5. CDP の活動分類システム(CDP-ACS)とは何ですか。セクター別の質問書を割り当てるためにどのように使用されていますか。

II. 開示サイクルと CDP のシステム使用方法

1. CDP を通じた回答はどのように行えばよいのですか。
2. 回答に役立つ資料はありますか。
3. 回答のスケジュールは。
4. CDP はどのように企業に最新情報を提供していますか。
5. 回答には費用がかかりますか。
6. 自社のアカウントに別のユーザーを追加するには。ユーザーの権限にはどのようなものがありますか。
7. メインユーザーのコンタクト情報をCDPはどのように管理しますか。
8. コンサルタントをユーザーとして追加することはできますか。
9. 親会社が既に回答している場合、子会社も回答すべきでしょうか。
10. 日本語で回答することは可能ですか。

III. 提出後:データとスコアリング

1. 提出後の回答はどうなりますか。
2. 回答に対するスコアが得られますか。
3. 質問書の全部または一部を回答しない場合にはペナルティを受けるのですか。
4. CDP ウェブサイトでどのように記載されますか。
5. 公開された回答はいつ閲覧可能になりますか。
6. 公開された回答はどこで閲覧できますか。
7. 自社のスコアはいつ入手可能になりますか。
8. 提出した回答書を変更・更新するにはどうすればよいですか。

IV. CDP へのコンタクトとフィードバック

1. CDPのローカルオフィス担当者と連絡を取るにはどうしたらよいですか。
2. CDP へのフィードバックはどこで行えますか。
3. CDP のコンサルテーションの結果はどこで閲覧できますか。

お探しのご質問がこちらに記載されていない場合は、[サインイン](#)して追加のガイダンス資料にアクセスしてください。ガイダンス資料へのアクセス方法については[こちら](#)をご確認ください。CDP ローカルオフィスへのお問合せ先は[こちら](#)です。

CDPジャパンでは、回答に役立つウェビナーを各種ご用意しております。ウェビナーは[こちら](#)からご覧いただけます。

I. CDP からの要請

1. 誰が CDP を通じて自社の環境情報を求めているのですか。

投資家と大規模な購買企業(顧客企業)がCDPを通じて環境情報の開示を要請しています。データはこれらステークホルダーが決定を行う際や環境に対する行動を促進するために活用されます。

企業は以下のいずれかから情報提供の依頼を受け取ります:

- 投資家のみ
- 顧客企業のみ
- 投資家及び顧客企業の両方

2021 年は

- [590 以上の機関投資家](#) (運用資産総額 110 兆米ドル以上)が6800社以上に対して回答を要請しています。投資家に対する情報開示が求められている企業のリストは[こちら](#)です。
- [200 を超える顧客企業](#) (調達総額 5.5 兆米ドル以上)が15000社以上のサプライヤーに対して回答を要請しています。
- CDP は、どのステークホルダーが貴社に対して回答を要請しているのかを E メールでお知らせします。この情報は貴社のダッシュボードでもご覧いただけます。

貴社に回答を要請しているステークホルダーがどのように情報を活用しているのか、また、回答を要請する主体となることにご関心がある方は、[CDP 署名投資家](#) または [CDP サプライチェーン](#) メンバーのページをご覧ください。

2. どのような情報の開示を求められているのですか。

CDP は企業に対するものとして3つ(気候変動、フォレスト、水セキュリティ)の質問書を用意しています。貴社はその全てまたはそのうちいずれか1つまたは2つの質問書への回答が求められます。質問書は、企業がステークホルダーに対して環境情報を提供する際の枠組みで、ガバナンスとポリシー、リスクと機会の管理、環境目標と戦略、シナリオ分析をカバーしています。質問書の全文は [こちら](#) からご覧いただけます。

投資家からの要請に応える場合でも顧客企業からの要請に応える場合でも質問項目が同じであるため、企業は複数のデータ利用者に同時にデータを提供することが可能です。顧客企業から回答が要請されている場合には、サプライチェーン・モジュールとして追加質問が表示され、顧客企業との関係に特化した情報を提供することができます。

セクター別質問書

環境に対する影響力が大きいセクターの企業には、一般的な質問に加えて、そのセクターに特化した質問が表示されます。

貴社がどのセクターに所属するのかについては、[CDP の活動分類システム \(CDP-ACS\)](#)に基づいて決定されます。詳細は "[CDP 活動分類システム \(CDP-ACS\)とは何か、セクター別質問の割当方法](#)"をご覧ください。

なお、企業は主要なセクター1つに関する質問書に対してのみ採点されます。つまり、1つの企業が複数のセクター別質問書が適用される場合、全ての回答が採点されるわけではありません。セクター別の質問には、どのセクターに該当するかの表示がされています。一方で、企業は該当する全ての質問に回答することが推奨されています。

3. なぜCDPを通じた情報開示を行うべきなのか。

CDPは、ステークホルダーの要請に応じて企業が環境情報を開示するためのプラットフォームを提供しています。この要請に応えるだけでなく、CDPを通じて投資家や顧客に情報開示を行う企業は、以下のようなビジネス上の利益を得ることができます。

- 企業の評判の確保と向上
- 競争力の強化
- 規制が課される前に対策を行う
- リスクと機会の特定
- 取組の進捗状況の把握とベンチマーキング

情報開示を行うことで、行動を起こすことによってどのような機会を得ることができるのかを特定することができます。詳細は [環境活動のための組織ガイド](#) をご参照ください。

開示することでどのように競争力を高めることができるのかなど、さらに詳しく知りたい方は、[開示のベネフィット\(pptスライド\)](#) をダウンロードするか、[企業としてなぜ開示すべきなのか](#) のケーススタディをご覧ください。

4. CDPへの回答要請は受け取っていませんが、CDPを通じて回答することは可能ですか。

はい、全ての企業がCDPの気候変動、フォレスト、水セキュリティに関する質問書によって情報を開示することが可能です。投資家や顧客企業からの要請を受けていないが情報開示を希望する場合には、こちらの [登録フォーム](#) にご記入の上、respond@cdp.net まで、申請手続きやシステムのセットアップなどに少々時間を要するため、可能な限り早い段階でお送りください。

自主回答企業(Self-Selected Company: SSC)としての開示には、回答のために事務費用がかかります。 回答はCDPの全ての署名投資機関に公開されます。自主回答企業も、期限(2021年7月28日)までに完全版の質問票に回答すれば、スコアを受け取ることができます。自主回答企業の回答は、CDPからサプライチェーンメンバーに自動的に提供されることはありません。ただし、回答を公開することを選択した場合には、回答はCDPのウェブサイト上で公開されますので、関心のあるサプライチェーンメンバーを含む全ての人々がアクセス可能となります。

5. CDPの活動分類システム(CDP-ACS)とは何ですか。セクター別の質問書を割り当てるためにどのように使用されていますか。

CDPの活動分類システム(CDP-ACS)は、2018年、セクター別質問書を割り当てるために開発されました。CDP-ACSの枠組みは、企業が収益を得ている事業に焦点を当て、気候変動、水セキュリティ、森林減少に対する企業のバリューチェーン全体の影響に関連付けることで分類を行っています。

本システムは、質問書に割り当てに使用されています。企業が特定のセクター質問書に割り当てられるためには、当該セクターにおいて収益の20%を得ている必要があります。セクター別質問書に該当しない場合には、企業は各テーマ(気候変動、水セキュリティ、フォレスト)の一般的な質問にのみ回答することとなります。

CDP-ACSは「活動」「活動グループ」「産業」の三層構造になっています。CDP-ACSの全セクターのリストは [こちら](#) です。セクターベースのアプローチにより、CDPは企業の回答をより意味のあるものとして評価し、各セクターの特徴を反映することができます。その結果、企業の環境スチュワードシップの進捗状況を反映したスコアが得られ、他社とのより良いベンチマーキングが可能となります。なお、採点は主要な質問書セクターについてのみ行われます。つまり、一つの企業が複数のセクター質問書に該当する場合、すべての回答が採点されるわけではありません。セクター別の質問には、どのセクターに該当するかが明記されています。採点はされないものの、企業は該当するすべての質問に回答することをお勧めします。

II. 開示サイクルと CDP のシステム使用方法

1. CDP を通じた回答はどのように行えばよいのですか。

企業は CDP のオンライン回答システム(ORS)を通じて環境情報を開示する必要があります。各企業の質問書は、ORS 上で見ることができます。

各企業には回答ダッシュボードがあり、そこからORSにアクセスすることができます。回答ダッシュボードには、企業がどの質問書への回答を要請されているのか、どのステークホルダーから情報提供が求められているのかなどの情報が含まれています。投資家や顧客企業から回答を要請されている場合には、CDPからEメールでお知らせし、回答ダッシュボードとORSへのアクセスリンクをお送りします。システムにアクセスするには、CDPアカウントの登録が必要となります。すでにCDPのアカウントをお持ちの場合は、既存のパスワードを使ってサインインすることができます。回答ダッシュボード、ORS上での質問書の有効化・記入・提出についての詳細は [開示プラットフォーム使用方法](#)をご確認ください。回答を要請されていないが自主的に回答することを希望される場合には、[CDP への回答要請は受け取っていませんが、CDP を通じて回答することは可能ですか](#)をご確認ください。

2. 回答に役立つ資料はありますか。

CDP は、CDP のプラットフォームを通じて情報を開示する企業を支援するために、様々な資料を用意しています。[企業ガイダンスページ](#) に、回答の際に参考となる主要なリソースが掲載されています。

- [質問書](#)

気候変動、フォレスト、水セキュリティに関する質問書をオンラインで閲覧もしくは Word/PDF 形式でダウンロードできます。

- [回答ガイダンス](#)

CDP は、質問内容や用語、各質問で何が求められているのかを明確にするために、各質問書について広範な回答ガイダンスを作成しています。回答ガイダンスには、各モジュールの紹介、質問の根拠、他のフレームワークとの関連性、回答が求められる内容、用語の解説、回答例、追加情報などが含まれています。

- [スコアリング資料](#)

スコアリングは CDP のミッションと密接に関わるもので、CDP の各質問書(気候変動、フォレスト、水セキュリティ)は、投資家や顧客企業に提出する企業に適用される独自のスコアリング基準があります。CDP は透明性を重視しており、全ての質問項目について完全なスコアリング基準を提供しています。スコアリング資料は、以下の順序でご覧いただくことをお勧めします。

- [スコアリング・イントロダクション](#): 閾値やスコアリング資格の詳細を含む CDP のスコアリングの概要を説明するもので、スコアリングを受けるために企業が回答を提出するにあたっての基礎資料です。
- [スコアリング基準](#): 各質問書について、各質問項目で獲得可能なポイント数について説明するものです。
- [スコアリング・カテゴリーと加重方法に関する資料](#): マネジメントレベルとリーダーシップレベルの各カテゴリーと質問項目がどのように重み付けされるかを示す資料です。

テクニカルノートやウェビナーを含む CDP の回答用資料一式にアクセスするには、サインインしてガイダンスツールを選択してください。ガイダンスツールは、画面右上のグレーのイニシャルのアイコンからアクセスできます。CDP の質問書、回答ガイダンス、スコアリング基準は、企業の環境におけるベストプラクティスに向けたガイドです。CDP のロードマップ [環境活動のための組織ガイド](#) は優れた環境活動に向けた道筋の各ステージにおいて企業がとっている行動を提供しています。

また、環境情報開示に役立つウェビナーやワークショップを開催しています。詳細は [イベントページ](#) をご覧ください。より詳細な情報開示サポートをご希望の方は、[レポーターサービス](#) について各 [ローカルオフィス](#) までお問い合わせください。

3. 回答のスケジュールは。

CDP は、年1回の情報開示サイクルで活動しています。スコアリングの対象となる2021年の回答の提出期限は2021年7月28日です。

企業は2021年4月中旬から、オンライン回答システム(ORS)を通じて2021年の質問書に情報を入力することができます。各年度の質問書は、[ガイダンスページ](#) で事前に関連することができます。

ORS 公開前に回答の準備を始めることをお勧めします。詳しくは [2021年のスケジュール](#) をご覧ください。

4. CDP はどのように企業に最新情報を提供していますか。

CDP は、ウェブサイトでの情報提供に加えて、E メール、ダッシュボードでの通知、ニュースレター、ウェビナーを通じて、企業のコンタクト先に最新の情報を提供しています。CDP のニュースレターには、最新のガイダンスやウェビナーが含まれており、回答企業に毎月送付されます。また、最新のブログやリサーチを紹介するニュースレターも発行しております。購読は[こちら](#)から。

5. 回答には費用がかかりますか。

CDP は非営利団体です。CDPのサービスを世界で求められている規模で提供するために、CDPのシステムに参加する企業と投資家の皆様には、費用の一部をご負担いただいています。

質問書のうち気候変動・フォレスト・水セキュリティのいずれか一つ以上に回答する企業は、年間の回答事務費用がかかります。この費用は、特定の国・地域に上場、設立、本社を置く企業に適用されます。手数料についての詳細は[こちら](#)をご覧ください。

(1)CDP の[投資家サンプル](#)のうち一つに該当し、過去3年間に CDP の回答書を提出していない場合、(2)顧客企業からの要請にのみ回答している場合は、回答事務費用が免除されます。料金が適用される国・地域の企業のうち、自主回答企業(投資家からの要請でなく、顧客企業からの要請に関わらず自主的に回答することを選択した企業)は、過去に回答したか否かに関わらず回答事務費用を支払う必要があります。

回答事務費用が適用されるか否かは、[CDP のダッシュボード](#)にログインし、回答する際に確認できます。費用が適用される場合は、オンライン回答システム(ORS)で回答を提出する際に、クレジットカード払いまたは請求書の発行を求める手続きが自動的に表示されます。

6. 自社のアカウントに別のユーザーを追加するには。ユーザーの権限にはどのようなものがありますか。

自社のアカウントにユーザーを追加したり、権限を変更したりするには、メインユーザーになる必要があります。メインユーザーは毎年リセットされますので、毎年回答を始められる際に、貴社にてメインユーザーの登録を行っていただく必要があります(CDP 側で設定することはできないものとなっておりますのでご了承ください)。ユーザーには3つのタイプがあり、各権限の違いは以下のとおりです。アカウントに追加できるユーザー数に制限はありません。

ユーザーの役割やメインユーザーになる方法の詳細については[回答プラットフォーム利用ガイド](#)をご覧ください。

自社のアカウントにアクセスする方法については上記「[CDP を通じた回答はどのように行えばよいのですか。](#)」をご参照ください。

	メインユーザー	共同編集者	閲覧のみ
	企業の回答の責任者。 メインユーザーになれるのは各社1名です。	ORS にアクセスし回答を編集することができます。 各社、複数人設定することができます。	編集作業はできず、回答をレビューし、サインオフする目的で回答を共有する際に使用できます。
回答へのアクセス	✓	✓	✓
データを入力・保存・編集	✓	✓	
企業を代表して質問書を提出 <ul style="list-style-type: none"> オンライン・ダッシュボードでの回答事務費用の支払い手続き（費用がかかるか否かの確認はこちら） 回答における条件の同意 	✓		
企業を代表して、回答へのアクセス権限を管理し、または、CDPIにこれらの変更を行う権限を付与すること。 <ul style="list-style-type: none"> システムに新規ユーザーを追加 システムからユーザーを削除／既存ユーザーのアクセス権限を変更（例：共同編集者から閲覧のみへの変更） メインユーザーを企業内の別の担当者に変更 外部のユーザーの追加を許可（例：コンサルタント、子会社の担当者等） 	✓		
開示サイクルと企業の回答に関するCDPの代表連絡先 <ul style="list-style-type: none"> リマインダメールの受信 提出確認メールの受信 回答に関する通知の受信 	✓		

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">イベントやその他関連情報についてCDPから連絡を受けることがあります。 | | | |
|---|--|--|--|

親会社がCDPへの回答を要請されている子会社を代表して回答する場合：子会社のユーザーは、ORSへのアクセスもなく、企業の回答を編集することはできません。子会社のユーザーがORSにアクセスする必要がある場合、親会社のメインユーザーが共同編集者・閲覧のみユーザーに設定することができます。

7. メインユーザーのコンタクト情報をCDPはどのように管理しますか。

メインユーザーになった場合、コンタクト情報(お名前・メールアドレス)はCDPのシステムに記録されます。

メインユーザーではなく、CDPのシステムからコンタクト情報を削除することを希望される場合は、privacy@cdp.net (英語)までご連絡ください。

8. コンサルタントをユーザーとして追加することはできますか。

可能です。作業中の回答にコンサルタントがアクセスできるようにするには、メインユーザーの[ダッシュボード](#)から、企業を代表してコンサルタントを共同編集者として設定します。共同編集者となったコンサルタントは回答の編集はできますが、提出はできません。実際の提出はメインユーザーが行う必要があります。

CDPは、回答のメインユーザーは企業の方であることを想定していますのでご注意ください。メインユーザーは、コンサルタントのような組織外の方であってはなりません。各ユーザーの役割や、企業のメインユーザーになる方法の詳細については、上記の「[自社のアカウントに別のユーザーを追加するには。ユーザーの権限にはどのようなものがありますか。](#)」及び[回答プラットフォーム利用ガイド](#)をご参照ください。

9. 親会社が既に回答している場合、子会社も回答すべきでしょうか。

子会社のデータが親会社のCDPへの回答に含まれている場合、子会社は回答する必要はありません。子会社のデータを含めるかどうかは、親会社の回答対象範囲の設定によって決定されます。C0.5, W0.6/W0.6 and F0.4/F0.5の回答ガイダンスをご参照ください。

- 気候変動と水セキュリティの質問書について、CDPの回答ガイダンスでは、出資比率、財務上の支配力、運営上の支配力に応じて回答バウンダリを決定するにあたって、また、異なる事業体のデータを統合する際には、GHGプロトコルを参照するよう企業に求めています。[GHGプロトコル](#)はバウンダリ概念を説明し、広範なガイダンスを提供しています。気候変動に関してはC0.5、水セキュリティに関してはW0.5/W0.6で回答するバウンダリの考え方は、全ての質問に一貫して使用されるべきものです。
- フォレスト質問書について、親会社は回答する各コモディティのバリューチェーンに応じて回答バウンダリを決定します(F0.4/F0.5)。子会社はその商品を生産・使用・販売している場合には回答バウンダリに含まれます。

子会社が親会社の回答バウンダリから外れる場合には、CDP に個別に回答することができます。したがって、CDP の回答に子会社のデータが含まれるか否かについては親会社に問い合わせることをお勧めします。どのような選択肢があるのかについては各 CDP ローカルオフィスに担当者にお問い合わせください。

10. 日本語で回答することは可能ですか。

より多くのステークホルダーに情報開示を行う観点から、基本的には英語での回答を推奨していますが、英語での回答が難しい場合には日本語での回答も可能です。日本語での回答の場合でも提出期限は英語と同様に2021年7月28日です。また、日本語回答も英語と同様にスコアリングが行われます。なお、日本語と英語が併記されている回答は不可となります。いずれかの言語で統一いただくようご注意ください。

III. 提出後：データとスコアリング

1. 提出後の回答はどうなりますか。

オンライン回答システム(ORS)で質問書への回答を提出する際には、回答を公開するあるいは非公開にする選択肢があります。この選択肢によって CDP が回答をどのように扱うかが決定されます。また、回答はスコアリングの対象となる場合があります(スコアリングと評価に関しては、下記の「[回答に対するスコアが得られますか。](#)」をご参照ください)。

以下の記述は要約ですので提出後の回答の扱いについては関連する資料を参照してください。本規約は、ガイダンスページに記載されている質問書の回答ガイダンス、または ORS 質問書の「[回答の提出](#)」のページをご覧ください。

公開の回答

- 回答を要請した投資家と顧客企業との共有
- CDP ウェブサイトでの公開
- 回答の採点を目的としたスコアリング・パートナーとの共有
- CDP または第三者による報告書における回答／情報の公開

非公開の回答

- 回答を要請した投資家と顧客企業との共有
- CDP ウェブサイトでは非公開*
- 回答の採点を目的としたスコアリング・パートナーとの共有
- 匿名性が確保された形での、CDP が作成する報告書での公開

*注) 投資家からの要請を受けた企業については、CDP ウェブサイトに提出状況が記載されます(詳細は下記の「[CDP ウェブサイトでのように記載されますか](#)」をご参照ください)。

サプライチェーン・モジュールで提出されたデータは、回答全体が公開か非公開かに関わらず、回答企業と、回答を要請した顧客企業との間で常に非公開となります。

投資家や顧客企業がどのようにデータを利用するかについての詳細は[投資家要請](#)及び[サプライチェーン](#)のページをご参照ください。

	公開の回答	非公開の回答
回答を要請したステークホルダー(投資家や顧客企業)との共有	✓	✓
CDP ウェブサイトでの公開 ※サプライチェーン・モジュールのデータは一般に公開されることはありません。	✓	
回答の採点を目的としたスコアリング・パートナーとの共有	✓	✓
CDP または第三者が作成する報告書での回答／情報の公開	✓	CDP の報告書のみ 匿名性が確保される場合のみ

2. 回答に対するスコアが得られますか。

スコアリングは、CDP のミッションと密接に関わるものです。CDP は、市場の力を利用して、企業が環境や天然資源への影響を開示し、負の影響を軽減するための行動をとるよう、動機付けをしています。CDP の質問書の完全版に回答する企業は、**2021年7月28日**の期限までに回答することでスコアが得られます。ミニマムバージョンの質問書に回答する企業は、顧客企業への回答を提出し、期限までに回答した場合のみスコアが獲得できます。詳しくは[スコアリング・イントロダクション](#)をご参照ください。

なお、回答を要請されているにも関わらず回答を提出しない場合は、スコアが「F」となりますのでご注意ください。「F」は評価に必要な情報を CDP に提供しなかったことを示しており、企業の環境スチュワードシップのレベルを反映するものではありません。

CDP はスコアリリース後にスコアレポートを提供しており、様々なフィードバックの選択肢があります。詳細については CDP のローカルオフィスにお問い合わせください。

CDP の企業向け質問書(気候変動、フォレスト、水セキュリティ)は個別のスコアリング基準があり、投資家や顧客企業に回答を提出する際に適用されます。CDP は透明性を重視しており、全ての質問書の完全な [スコアリング基準](#) をオンラインで提供しています。

質問書に回答する前に、CDP のスコアリング資格についての情報、スコアリング基準、回答ガイダンスが記載された [スコアリング・イントロダクション](#) を参照されることを強くお勧めします。

3. 質問書の全部または一部を回答しない場合にはペナルティを受けるのですか。

企業は可能な限り多くの情報を提供することが推奨されており、開示レベルのスコアリング基準においても開示するようインセンティブが与えられています。部分的な情報を提供することは、全く回答しないよりは良く、どのような回答であっても、回答を要請したり利用したりするステークホルダーにとって有益な情報です。

CDP の質問書を社内のデータ収集や戦略の指針となる枠組みとして利用することで、毎年回答を積み重ねることができ、目標の設定にも役立ちます。

CDP は、小規模な企業や初回答企業に対して、ミニマムバージョンの質問書を提供しています。詳細については、上記の「[回答に対するスコアが得られますか。](#)」を参照してください。

回答を要請されたにも関わらず回答を提出しない場合には、要請したステークホルダーに対して「無回答」または「回答を拒否」と通知され、スコアは「F」が付与されます。「F」は CDP が評価を行うのに必要な情報が提供されなかったことを示し、回答企業の環境スチュワードシップのレベルを反映したものではありません。また、CDP の報告書、デジタルプラットフォーム、データパートナーを通じて、投資家、顧客企業、その他のステークホルダーに対してスコアが伝えられることがあります。下記の「[CDP ウェブサイトでどのように記載されますか。](#)」をご参照ください。

CDP のスコアリングに関する詳細については、[スコアリング・イントロダクション](#)や各質問書のスコアリング基準、上記の「[回答に対するスコアが得られますか。](#)」をご参照ください。

4. CDP ウェブサイトでどのように記載されますか。

投資家から回答の要請を受けた企業

- 投資家から回答を要請された企業は、CDP のウェブサイトに掲載されます。投資家への回答を要請されている企業の一覧は[こちら](#)をご覧ください。
- 企業のスコアは、回答自体が公開か非公開かに関わらず、一般に公開されます。CDP の質問書に初めて回答する企業に対しては、最初の一年間に限って、スコアを非公開にする選択肢があります。この選択肢をご希望の場合は、CDP のローカルオフィスにお問い合わせください。
- 回答を要請されたにも関わらず回答を提出しなかった場合には、「回答を拒否」もしくは「無回答」と記載され、スコアは「F」が付与されますのでご注意ください。詳細は、上記の「[質問書の全部または一部を回答しない場合にはペナルティを受けるのですか。](#)」をご参照ください。
- 貴社のデータが他の企業(例:親会社など)の回答に含まれている場合、ステークホルダーが他の企業の回答を参照すべきであることを示す「See Another」と表示され、貴社のスコアは他の企業のスコアが反映されます。

顧客企業への回答を要請された企業

- 企業が回答し、その回答を公開することを選択しない限り、回答企業とCDP のサプライチェーンメンバーとの間に関係が存在することをCDP のウェブサイトで公開することはありません。
- 企業のスコアは、回答自体の公開・非公開に関わらず公開されません(スコアが「A」の場合を除く)。

5. 公開された回答はいつ閲覧可能になりますか。

2021年の公開の回答は年末頃にCDPウェブサイトの[回答を閲覧・検索](#)のページで公開されます。詳細は下記の「公開の回答はどこで閲覧可能ですか。」をご参照ください。

6. 公開された回答はどこで閲覧できますか。

CDP ウェブサイトの回答検索・閲覧機能を使用して公開の回答を閲覧するには、[ユーザーアカウントを作成](#)する必要があります。回答が公開されている場合には、[回答の閲覧・検索機能](#)においてクリックできるようになっています。

7. 自社のスコアはいつ入手可能になりますか。

2021年のスコアは2021年末までに公開される予定です。スコアリリースの日程は追って確定します。なお、全てのCDP スコアが公開されるわけではありません。詳細については、上記の「[CDP ウェブサイトでどのように記載されますか。](#)」をご参照ください。

8. 提出した回答書を変更・更新するにはどうすればよいですか。

回答の提出後、回答は「閲覧のみ」の形式になります。回答期限(2021年7月28日)以前に提出した回答は、2021年7月14日までに回答を修正したい旨を CDP に連絡する必要があります。また、回答をスコアリングの対象とするためには、回答期限までに回答を再提出する必要があります。

2021年7月15日以降、提出済みの回答の修正は CDP の職員が CDP の権限においてのみ行うことができ、修正のための費用を請求することがあります。回答の修正は最短で2021年10月4日以降に行われます。なお、修正依頼の最終的な期日は2021年11月30日であり、2021年7月15日以降に提出された回答修正依頼に関しては、スコア、報告書、データのとりまとめ、その他の分析などには反映されない場合があります。回答の修正に関する詳細は respond@cdp.net までお問い合わせください。

IV. CDPへのコンタクトとフィードバック

1. CDPのローカルオフィス担当者との連絡を取るにはどうしたらよいですか。

CDPは世界中の多くの場所で活動しています。お住まいの地域のローカルオフィスの連絡先は[お問い合わせ先](#)のページをご確認ください。

2. CDPへのフィードバックはどこで行えますか。

CDPは、CDPのプラットフォームを通じて情報を開示する企業からのフィードバックを歓迎します。質問書の内容や補足資料についてのフィードバックは、[テクニカルフィードバックフォーム](#)をご利用ください。なお、CDPは質問書に関するパブリック・コンサルテーションも行っています。詳細は[コンサルテーションに関するページ](#)をご確認ください。

上記以外のフィードバックについては、[一般的なフィードバックフォーム](#)をご利用ください。いただいたご意見に対する返信はいたしません。継続的に改善していくために、全てのフォームの内容は確認しております。回答企業を代表して、ご意見に対する回答をご希望の場合は、CDPローカルオフィスの担当者までお問い合わせください。

3. CDPのコンサルテーションの結果はどこで閲覧できますか。

質問書に関する最新のコンサルテーションの内容については、[コンサルテーションに関するページ](#)をご参照ください。